

寄

5 年

11画
ナ 寄 寄

おん キ
よる・よせる

なりたち 倚(依)るの意
味の奇と(家)の会意形声字
「家に身をよせる」ことを表した字。「身をよせる・たよる・よる」こと。また、「旅住まい」の意味にも使われる。



いみじゆく
▼身をよせる。たよる。
寄食：他人の家に身を寄せて生活すること。居候をする

寄生：一つの生物が他の生物の体に取りついて、栄養分を奪って生きていくこと。

▼物をあずける。おくる。
寄託：物を人にあずけて、その処理を頼むこと。
寄贈：物を人に贈り与えること。

寄附：公共の事業などのために、金や物をおくること。
▼たちよる。
寄港：航海の途中で船が港に寄ること。

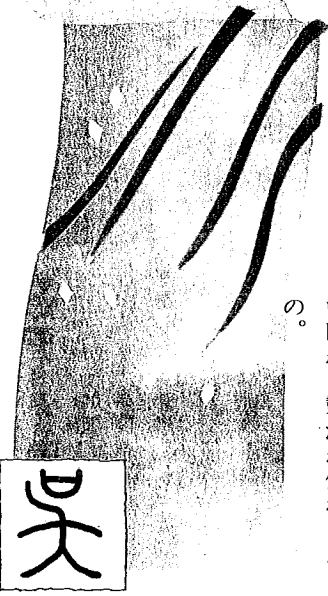
よみかた 寄稿・寄宿舎・寄進・寄与・寄せ木細工・寄せ算・寄り道
さんこう 特別なよみかた↓
寄席・数寄屋・最寄り

吳

7画
一 口 口 口 口 口 口 口

おん コ

なりたち 頭をかしげ体をくねらした形の吳と口との会意字。大声で歌い舞い踊ることを表した字。「たのしむ」こと。周の大王の長子太伯が揚子江の下流地方に建てた国の名。わが国の古代に最も影響を与えた。



いみじゆく
▼吳、中国の周代・春秋時代に、三國時代に、長江(揚子江)の南にあった国の名。
吳越同舟：(吳と越は同じ江)南にあつて戦が絶えなかつたことから)仲の悪い者同士が一つの場所や立場で隣り合わせになること。

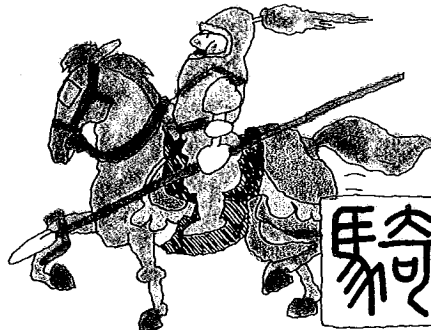
吳音：漢字の音の一つ。五・六世紀ごろ、吳の地方から日本に伝わった。他に唐音・漢音がある。
吳服：反物・織物。もともと中国から製法が伝わったもの。

騎

18画
一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

おん キ

なりたち 倚(依)るの意
味の奇と馬の会意形声字。「馬に身をよせる」ことを表した字。「馬に乗ること。また、馬に乗った兵士」の意味にも使われる。



いみじゆく
▼馬に乗る。
騎馬：馬に乗ること。また、その人。例 騎馬戦

騎士：①馬に乗っている武士
②中世ヨーロッパの武士で馬に乗って戦う者。名誉ある位とされた。ナイト。例 騎士道

▼馬に乗った兵士・人。
單騎：馬に乗った兵士がただ一人。用例 單騎敵中に突進する。

よみかた 騎乗
一騎当千：一人で千人に当たって戦えるほど強いこと。



娛

10画
一 一 一 一 一 一 一 一 一 一

おん コ

なりたち 「たのしむ」意味の吳が国の名に用いられるようになったため、女の字を加えて「たのしむ」専用の字としたもの。会意形声字。



いみじゆく
▼楽しむ。楽しい。
娛樂：仕事の余暇に、気分転換として何かをしたり、見たり、聞いたりして楽しむこと。例 娛樂施設